

中学校第2学年社会科（歴史的分野）学習指導案

指導者

1. 日時 6月15日（水） 3校時
2. 学年 2年組 男子名 女子名
3. 単元名 江戸幕府の成立と対外関係
4. 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、江戸幕府の（幕藩体制）の成立から対外関係（琉球王国・アイヌ民族）までを取り扱う。江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解できるようにする。「鎖国などの幕府の対外政策と対外関係」については、オランダ、中国との交易のほか、朝鮮との交流や琉球の役割、北方との交易をしていたアイヌについて取り扱う。その際、アイヌの文化にも触れる。「幕府と藩による支配」については、その支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなどに気付かせる。

新学習指導要領において、現代社会に求められる「生きる力」をより具体的にして、育成を目指す資質能力として、ア「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）、イ「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）、ウ「どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等の涵養）」の三つの柱に整理された。知識の「習得」だけでなく、その知識をどう使うかという知識の「活用」が単元・授業に求められる。

(2) 生徒観

本学級の生徒（男子名、女子名）の生徒は常に明るく元気で、何事にも意欲的に取り組むことができる生徒が多い。男女とも非常に仲が良く、学級への声かけも積極的に行うことができる。学習に対しても意欲的な態度で参加し、発問に対しては常に積極的に挙手をして発言をする場面が多く見られる。また、話し合い活動では、生徒同士で積極的に意見交換することができ、分からないことは生徒同士で相談しあったり、先生に質問したりすることができる集団である。一方で、授業内容の理解度には個人差があり、特に中心発問である「なぜ」を探究するのに時間がかかる生徒が多い。また、学習したことを自分なりの言葉で発表したり、プリントに記述したりすることに苦手意識を持つ生徒も多い。

(3) 指導観

指導については、小学校での既習知識を踏まえながら、幕藩体制の成立、身分制度の確立、鎖国政策などについて、資料を読み取りながら当時の人々の様子を考察することで、具体的なイメージを持たせたい。そのため、「なぜ」を単元と各授業の中心に据える。中学校における歴史学習では時代を大観する必要がある。そこで、小学校の歴史学習では十分ではない「社会のしくみ」を原因と結果の関係で見えていく。本単元では、「なぜ、江戸幕府は200年以上続く戦乱のない平和な時代をつくることができたのだろうか」を、単元を貫く問いとして設定し、追求させる。

さらに、江戸時代前期の江戸幕府の政策について学習するなかで、政策を「大名に対して」「民衆に対して」「外国に対して」など、対象の違いによって分けながら整理させる。特に、その政策（原因）によって出た影響や結果について考察させながら、生徒自身の言葉で表現させる。整理した図から情報を選

択し、江戸幕府が平和な時代をつくった政策について、「なぜ」を探究しながら、原因と結果を分析し論述させる。また、学習形態は個人とグループそれぞれを使い分けたい。学習課題は個人に対して行うものなので、課題については基本的に個人で取り組ませる。その後、周囲の生徒との対話を含めながら協働学習を行い、ワークシートの整理や共有はグループで行う。

5. 単元目標

- 武家諸法度や参勤交代などの幕藩体制を確立することで、大名たちを統制したことが理解できる。
- 幕藩体制のもと、厳しい身分制度によって民衆を支配した。また、人口の多くを占める百姓が、幕府や藩の経済を支える仕組みを作り、江戸幕府の財政の基礎を固めたことを理解できる。
- 島原・天草一揆でキリスト教が広まることを恐れた幕府は、キリスト教を厳しく取り締まった。そのため、キリスト教を広める恐れがないオランダ・中国・朝鮮のみと貿易を行った。また、貿易の窓口（長崎の出島・対馬・琉球・松前）も限定するなど、江戸幕府の厳しい鎖国政策について理解できる。
- 幕藩体制の確立や身分制度、江戸幕府の組織について、資料から読み取る。
- 地図を活用し、幕府の鎖国政策の様子をおおまかに捉える。

【知識、技能】

- 江戸幕府の特徴である、大名を統制する幕藩体制、民衆を支配した身分制度、キリスト教の布教を厳しく取り締まった対外政策について、関連付けて文章化することでまとめる。

【思考力、判断力、表現力】

- 戦乱が長く起こらなかったことに興味を持ち、幕藩体制を中心に、長く権力を保持した江戸時代の特徴を意欲的に追求する。
- 習得した知識を基に、次時で探究したい問いを「なぜ」の形で表すことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

6. 単元の評価規準

ア 社会的事象についての 知識・技能	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 社会的事象へ 主体的に学習に取り組む態度
江戸幕府の成立と大名統制、身分制度の確立とその背景、鎖国政策、鎖国下の対外関係などについて理解し、その知識を身に付ける。また、基礎的・基本的な知識を用いて、さまざまな課題を解決するために資料を読み取り、その内容から適切な情報を選択して活用したり、図や表などにまとめることができる。	江戸幕府の成立と大名統制、身分制度の確立とその背景、鎖国政策、鎖国下の対外関係について、多面的・多角的に考察し、「なぜ」を探究することで、原因と結果の関係から、生徒自身の言葉で適切に表現できる。	江戸幕府の成立大名統制、身分制度の確立とその背景、鎖国政策、鎖国下の対外関係などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。また、江戸幕府のもとで長く戦乱が起こらなかったことを探究し、近世日本の特色を整理するなど、学びに見通しを持つことができる。また、近世の日本の歴史に関して、主体的に追求しようとするとともに、我が国の歴史に対する愛情を深めようとする態度を養っている。

7. 単元の指導計画と評価規準

時 数	・主な学習活動 ○主な問い	評価			
		知・技	思・判・表	態度	評価規準
1 時	・小学校、本時までの既習知識から、単元を貫く問い (なぜ、江戸幕府は、長い間政治の権力を保つことができたのだろうか)を設定する。 ○なぜ、徳川家康は江戸幕府を成立させることができたのだろうか。 ・戦の流れと幕府成立の復習→征夷大將軍の任命 ○なぜ、幕府は外様大名を江戸から遠い位置に配置したのだろうか。 ・配置からの読み取り→参勤交代の負担 ○なぜ、幕府は大名や朝廷を支配することができたのだろうか。 ・厳しい法律で取り締まる→大名や朝廷に力を与えない工夫 ★次時以降につながる問いを設定する。 ○なぜ、幕府は大名を統制して戦乱のない時代をつくることができたのだろうか。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ● 「主な大名の配置」などの資料から大名統制の方法を読み取って理解している。 ● 徳川家康の諸政策を通じて、江戸幕府による全国支配の仕組み(幕藩体制)を理解する。
2 時	○なぜ、総人口の約7%を占める武士(少数)が、多数を占める百姓・町人を支配することができたのだろうか。 ・本百姓と水のみ百姓の違い→年貢による支配 ・五人組の制度→連帯責任、お互いの監視 ・差別された人々の存在→百姓を精神的に安定させる ○なぜ、厳しい身分制度に対して、人々は反乱を起こさなかったのだろうか。	○			①以下の三つのポイントを理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 身分による役割の違いをはっきりさせることで、幕藩体制による安定的な支配ができたこと。 ● 五人組で百姓を連帯させることで、年貢による安定的な支配ができたこと。 ● 差別された人々によって、百姓を精神的に安定させたこと。 ②厳しい年貢の取り立てと五人組の制度によって、民衆は幕府に反抗できなかったことが予想できる。

3 時	<p>★江戸幕府が鎖国に向かった流れを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朱印船貿易を中心とした積極的な貿易 <p>→豊臣秀吉の貿易政策との比較</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な貿易（朱印船貿易） ↓ ・制限（キリスト教の禁止） ↓なぜ、禁教令を出したのか？ ・反乱（島原・天草一揆） ↓なぜ、反乱は起こったのか？ ・制限の強まり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・領主への忠義より、神への信仰を強めることを危険視 <p>○なぜ、江戸幕府はキリスト教を禁止したのだろうか。</p> <p>○なぜ、島原天草一揆は起きたのだろうか。</p> <p>→キリスト教信者の思い（信教の自由につなげて）</p>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、それが人々の生活に与えた影響を理解できる。 ● 江戸幕府が17世紀の前半に對外政策を変化させて「鎖国」した理由を禁教・貿易統制・外交独占などから考察し、表現している。
4 時	<p>★江戸時代の日本は、世界とどのように関わっていたのか説明できるようになる。</p> <p>○なぜ、幕府は鎖国下の窓口を四つに限定したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎖国下の窓口を地図で確認する→資料の読み取り <p>○なぜ、幕府は中国（清）とオランダとの貿易を許可したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国（清）、日本、オランダの貿易関係を図でまとめる。 <p>○なぜ、幕府は朝鮮との国交を回復することができたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬藩の努力、朝鮮通信使での交流 ・朝鮮、日本の貿易関係を図でまとめる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ● オランダ、中国とは正式な国交はなく、長崎において貿易が行われていたことを理解している。 ● 朝鮮とは正式な国交があり、通信使の派遣や倭館の貿易などが行われていたことを理解している。
5 時	<p>○なぜ、幕府は琉球王国を支配することで大きな利益を得ることができたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府と琉球王国の関係、中国（明や清）と琉球王国の関係を図でまとめる→朝貢貿易、中継貿易を管理下に置くことで、大きな利益を得る。 ・琉球使節の役割→將軍の權威を民衆に知らしめる <p>○なぜ、アイヌの人々は幕府との交易に不満を持ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換の比率が不公平、アイヌ民族独特の文化 	○		<ul style="list-style-type: none"> ● 琉球が薩摩藩に支配されるとともに、中国と朝貢貿易を行っていることを理解している。 ● アイヌの人々の生活や松前藩の交易の様子について理解している。

6 時 ★	<p>【単元のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸時代前期の政策についてまとめよう。 ○なぜ、幕府は大名・朝廷・民衆を支配することができたのだろうか。 ○なぜ、幕府は鎖国政策を行う必要があったのだろうか。 江戸幕府の政策を「大名に対して」「民衆に対して」「外国に対して」の3つに分けてまとめる。→主な政策（キーワード）と、その政策によって起こった影響や結果を図でまとめる。 ○なぜ、江戸幕府は200年以上続く戦乱のない平和な時代をつくることができたのだろうか。自分の言葉で論述してみよう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習の成果を活用して、なぜ、江戸幕府が200年以上戦乱のない平和な時代をつくることができたのかを原因と結果の関係から考察し、表現する。
-------------	--	---	---

★本時の授業は6時を行う。

8. 本時の目標

- 江戸幕府が行った政策を「大名」「民衆」「外国」の3つに分けてまとめて話し合う活動を通して、なぜ、江戸幕府が260年以上戦乱のない平和な時代をつくることができたのかを原因と結果の関係から考察し、表現することができる。

【思考力, 判断力, 表現力】

9. 本時の展開【6時】

学習活動 ○発問 ◎指示	指導上の留意事項	◎評価規準 ★資料
<p>【導入】</p> <p>1. 安土桃山時代と江戸時代の長さを比較する（クイズ形式で）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸時代は安土桃山時代の何倍続いたかな？ ○豊臣秀吉はどんな政策をしていたかな？ <p>2. 本時の学習活動の流れを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ①豊臣秀吉が行った政策を振り返る。 ②これまでの学習活動（江戸幕府の政策）をワークシートに整理して図化する。 ③それぞれの政策（大名・民衆・外国）の中で、江戸幕府が一番力を入れていた政策はどれか自分なりに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの復習をしながら、本時のめあてを確かめる。 ・前時までのプリントを見ながら、大名に対する政策・民衆に対する政策・外国に対する政策について想起させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★パワポ（前時の振り返り） ★それぞれの時代の比較

<p>④「なぜ、江戸幕府が200年以上戦乱のない平和な時代をつくることができたのか」を論述する。その際、以下の条件を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③で考えた政策とそれ以外の政策も入れる。 ・ワークシートで確認したキーワードを入れる。 <p>3. めあての確認をする。 ◎ワークシートにめあてを板書するように指示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流れを板書に書いて説明する。 <p>○豊臣秀吉の政策 ↓ ○幕府の政策 ↓ ○なぜの探究</p>	
--	---	--

なぜ、江戸幕府は200年以上平和な時代をつくることができたのか説明できる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・板書する時間を取る。 	
--	---	--

<p>【展開】</p> <p>1. 豊臣秀吉が行った政策を振り返る。 ◎豊臣秀吉はどんな政策を行っていたかな？振り返ってみよう。</p>		
---	--	--

豊臣秀吉が行った政策

<大名>

- ・関白という地位を利用して、各地の大名を従わせた。→抵抗すれば武力。

<民衆>

- ・太閤検地と検地帳→決められた年貢を納める責任を負う。
- ・刀狩令

<外国>

- ・バテレン追放令で宣教師追放した。→南蛮貿易禁止されない

<p>2. これまでの学習活動（江戸幕府の政策）をワークシートに図化する。</p> <p>○江戸幕府は200年以上全国を支配するために、どのような政策をしていたかな？ワークシートに、江戸幕府が行った政策をまとめてみよう。（文章ではなく単語のみで書かせる→箇条書きで）</p> <p>◎大名に対する政策、民衆に対する政策、外国に対する政策を箇条書きで書かせることで、それぞれの政策のキーワードを捉える。個人で考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを埋めながら、幕府の支配体制、身分制度、諸外国との関係を確認する。 	<p>★秀吉の政策（大名、民衆、外国に分けて）</p> <p>★ワークシート（表）</p> <p>★ワークシート（マトリックス）</p> <p>★パワポ（参勤交代）</p>
---	--	--

◎キーワードを発表させて、黒板に板書する。

◎発表されたキーワード（政策）がなぜ行われたのか、どんな目的があったのかを確認する。周りの生徒と話し合う。

例

- ・参勤交代→外様に力を付けさせない
- ・五人組→連帯責任を負わせて犯罪を防止
- ・鎖国→キリスト教の布教を防ぐ

3. それぞれの政策（大名・民衆・外国）の中で、江戸幕府が一番力を入れていた政策はどれか自分なりに考える。

○江戸幕府は、200年以上もこれらの政策を実行することで、全国を支配することに成功しました。では、これまでの学習を振り返って、江戸幕府はどの政策に一番力を入れたと考えますか？そして、なぜその政策に力を入れたと考えましたか？グループで話し合ってみましょう。

◎4～5人の小グループを作って話し合わせる。

◎ホワイトボードにグループの意見を書かせる。その際、選択した政策のキーワードを必ず入れるように指示する

◎グループで幕府が力を入れたと思う順にランキングを作成する。

予想される生徒の意見

大名に対する政策に一番力を入れた

- ・きまりを作らないと、幕府を倒そうと考えるかもしれないから。
- ・有力な権力者が出てきてしまうと困るから。

・「大名」「民衆」「外国」に対する政策の中から一つを、グループの意見として選択させる。

・それぞれの考えをグループでホワイトボードにまとめさせる。また、スムーズに発表できるように、代表者には発表カードを配り内容をまとめさせる。

・学習課題に対して、さまざまな意見を持つグループで発表活動をする。

・意見は必ず根拠をはっきりさせることを指示する。

★ピラミッド型

→ランキング形式にすることで、生徒の考えを可視化する

<p>民衆に対する政策に一番力を入れた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府は、民衆が起こす「一向一揆」を恐れていたから。 ・武士の生活は、民衆が納める年貢によって支えられていたから。 <p>外国に対する政策に一番力を入れた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教信者の反乱を恐れたから。 ・貿易の利益は、幕府にとって大きな財源だったから。 <p>◎各グループの代表者に、話し合った内容を基に根拠を含めて発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの意見をしっかりと聞かせること（聞く態度・姿勢）を意識させる。 ・各グループの主張とその根拠をメモさせて、新たな視点や考えに気付かせ、自分の意見を深めさせる。 	
<p>【まとめ】</p> <p>1. 本時のまとめを行う。</p> <p>◎めあてに対する答えをここまでの学習内容からまとめる。</p> <p>○なぜ、江戸幕府は200年以上戦乱のない平和な時代をつくることができたのか、ここまでの学習内容を踏まえて論述してみよう。</p> <p>◎最も重要だと思った政策(1位)を強調させて、2位の政策のキーワードも必ず入れるように指示する。</p> <div data-bbox="93 1136 583 1367" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめの例</p> <p>私は、〇〇のおかげで江戸幕府が200年以上続いたと考えました。</p> <p>その理由は・・・</p> </div>		<p>◎江戸幕府の政策を「大名」「民衆」「外国」の異なる視点から分析し、説明している。</p> <p>◎それぞれの政策を、原因と結果の関係から考察し、文章にして表現できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>★パワポ(まとめの例)</p> <p>◎論述の評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3つの政策すべてを含めて、江戸幕府が200年以上続いた理由を自分の言葉で表現できている。(A評価) ● 1つの政策のみで、江戸幕府が200年以上続いた理由を表現できている。(B評価) ● 江戸幕府が200年以上続いた理由を表現できていない。(C評価)

【板書計画】

【江戸幕府の成立と対外政策】

めあてなぜ、江戸幕府は 200 年以上戦乱のない平和な時代をつくることができたのだろう。

<豊臣秀吉が行った政策>

大名

関白という地位を利用して、大名を従わせた。

→抵抗すれば武力

民衆

太閤検地と検地帳

→決められた年貢を納める義務を負う。

刀狩り

→一揆を防ぐ

外国

バテレン追放令

→南蛮貿易禁止されない

3 班

4 班

5 班

6 班

1 班

2 班

まとめ

生徒の意見をまとめる

【江戸幕府の成立と対外政策】

2年()組 名前()

めあて

★豊臣秀吉が行った政策と支配体制を「大名」「民衆」「外国」に分けてまとめてみよう。

大名に 対して	
民衆に 対して	
外国に 対して	

★江戸幕府は200年以上全国を支配するために、どのような政策をしていたかな？

江戸幕府が行った政策を「大名」「民衆」「外国」に分けてまとめてみよう。

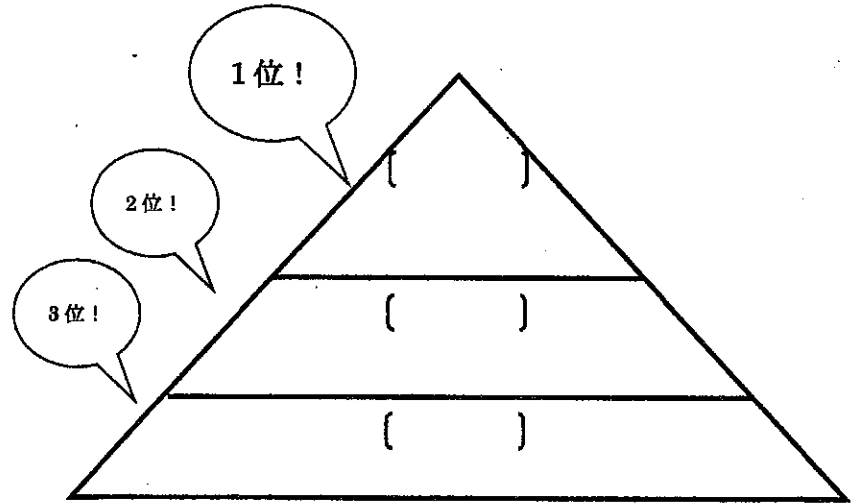
	江戸幕府が行った政策（箇条書き）	その政策が行われた目的・理由
大名に 対して	・参勤交代	→ ・外様に力を付けさせない。
民衆に 対して		
外国に 対して		

<考えてみよう！>

これまでの学習を振り返って、江戸幕府はどの政策に一番力を入れたと考えますか？
そして、なぜその政策に力を入れたと考えましたか？

自分の意見

★グループで幕府が力を入れたと思う順にランキングを作ってみよう！



<まとめてみよう！>

★なぜ、江戸幕府は200年以上戦乱のない平和な時代をつくることができたのかな？

ここまでの学習内容を踏まえて自分の言葉で論述してみよう。